

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【国語】・学年【2年】担当者 三原 要二郎

関 国語への関心・意欲・態度
話 話す・聞く能力
書 書く能力
読 読む能力
言 言語についての知識・理解・技能

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4 5	広がる学び へ	見えないだけ	読	詩に込められた主題を自分なりに理解する。	詩全体に込められた主題を自分なりに理解し、表現する。	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		アイスプラネット	読	心情や変化を表す語句等に注意して読み、人物の言動の意味を考える。	心情や変化を表す語句等に注意して読み人物の言動の意味を考え、作者が描きたかったことを自分なりに考える。	
		要点を整理して聞き取る	話	聞き取りメモをとる時、自分なりに必要なことを選び、書き留めながら聞く。	メモの時、話の順番だけでなく、記号を用いる、主な内容と支える内容、箇条にまとめるなどして、整理しながら聞く。	
		枕草子	読	内容の特徴や描写の特色に気づき、音読する。	文章に表れている作者の感じ方と自分の感じ方を比較し、感想を書き留める。	
		多様な方法で情報を集めよう	書	目的に沿って中心に伝えることを考え、自分の考えをまとめる。	多様な方法で情報を集め、情報を分類、整理し、自分の考えを分かりやすくまとめる。	
		漢字1熟語の構成	言	二字の熟語について、関係を見分ける。	三字以上の熟語について、その関係を見分ける。	
6	多様な視点 から	生物が記録する科学	読 書	説明されている内容を捉え、ものの見方や考え方を広げる。	説明されている内容を的確にとらえ、物の見方や考え方を広げ、文章で表現でき	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		魅力的な提案をしよう	話	様々な事実、意見等が伝わるよう、資料を用いてプレゼンテーションを行う。	様々な事実や意見等が効果的に伝わるよう、具体例を表す資料を適切に用いてプレゼンテーションを行う。	
		メディアと上手に付き合うために	読	メディアの特性を読みとり、TV、新聞、ウェブ等に関わる自分の考えを書き留める。	メディアの特性を読みとり、TV、新聞、ウェブ等に関わる自分の知識・体験と関連付けて考えを書き留める。	
		言葉1 対義語・類義語・多義語	言	類義語と対義語、多義語がどのようなものか知る。	類義語同士の意味の違い、対義語の共通点、多義語が含む意味の多様性を知	
		新しい短歌のために	読	心情や情景を推察できる語句などに注意して短歌を読む。	鑑賞文を書くことを通して、新たな短歌を詠み味わう。	
		言葉の力	読	「言葉の本質」について筆者の考えを読み取る。	「言葉の本質」について筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	
7 8	読書生活を豊かに	世界で一番の贈り物	読	読書の契機となる文章を読み取ったり、感想を書いて交流したりする。	読書、交流から、自分の考えがどう変わったか書き留める。	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		二年一組のお薦め三十五冊	書	推薦する理由が伝わるように、表現を工夫する。	推薦する理由が読み手に伝わるように、表現や構成を工夫する。	
8 9	きずなを読む	盆土産	読	心情を表す語句等に注意して読み、人物の言動の意味を考え、家族や将来について感想を書き留める。	心情を表す語句等に注意して読み、人物の言動の意味を考え、方言や情景描写の効果に着目し、自分の考えを書き留め	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		字のない葉書	読	心情を表す語句等に注意して読み、人物の言動の意味を考え、父親という存在について考えを書き留める。	心情を表す語句等に注意して読み、人物の言動の意味を考え、自分や自分たちの父親という存在について考えを書き留	
		気持ちを込めて書こう	書	実際の読み手を意識して、一番伝えたい気持ちについて書く。また推敲する。	実際の読み手を意識して、一番伝えたい気持ちについて、伝わるよう工夫して書く。また推敲する。	
		モアイは語る	読	文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。	文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉え自分の考えをまとめる。	
		言葉2敬語	言	敬意の対象を意識することで、敬語の種類を選ぶ。	敬意の対象を意識することで、敬語の種類を選び、場面に応じ、正しく敬語表現をする。	
		漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	言	同訓異字・同音異字がどういったものか、また、使い分けについて理解する。	同訓異字・同音異字の使い分けについて理解し、違いがわかる短文で活用できる。	
7 9	書写	行書を書いて確かめよう	言	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。	
		漢字と仮名を調和させて書こう	言			

10 11	いにしへの 心を訪ねる	平家物語 扇の的	読	状況、人物の言動の意味や心情、描写の効果を理解した上で、平家、源氏の考え方を推察し、感想を書く。	状況、人物の言動の意味や心情、描写の効果を理解した上で、平家、源氏の考え方を推察し、自分の感じ方・考え方と比較して感想を書く。	ファイル点検 ワークシート 定期テスト 音読・暗唱テスト
		仁和寺にある法師から	読	事実を把握し、出来事等から得られる教訓を読み分け、意見を書き留める。	事実を把握し、出来事等から得られる教訓を読み分け、似た経験・状況でも異なる効果を生んだ例などを自分の知識や体験から探し、意見を書き留める。	
		漢詩の風景	読	漢詩の状況・情景・心情を理解し、漢詩独特の言葉遣いや調子に慣れ、音読する。	口語文が、大意・筆者による補足・感想から成ることを読み取り、漢詩の状況・情景・心情を理解し、漢詩独特の言葉遣いや調子に慣れ、音読する。	
		論理を捉えて	読	抽象的な概念を表す語句に注意し、絵画や評論文というものに対する見方・考え方を書き留める。	抽象的な概念を表す語句に注意し、指摘と実際の絵画の部分を対照するなどし、文章を書いた動機を理解した上で、絵画や評論文に対する見方・考え方を書き留める。	
		話し合って 考えを広げよう	話	パネルディスカッションを理解し、社会の出来事等から問題意識をもって話題を選び、それぞれの立場から話し合う。	パネルディスカッションの形式を理解し、社会の出来事等から問題意識をもって話題を選び、事実や情報を集め、意見と根拠を、話す順序と強調点を工夫して話し合う。	
		文法への扉2 用言の活用	言	用言の活用を理解した上で、ある程度の量の用言の活用の種類を見分ける。	用言の活用を体系的に理解した上で、ほとんどの用言の活用の種類、活用形を見分ける。	
12 1	読書に親しむ 表現を見つめて	小さな町のラジオ発	読	筆者の「声」に対する考え方について自分の考えをまとめる。	筆者の「声」に対する考え方について自分の考えをわかりやすくまとめる。	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		走れメロス	読	心情を表す語句、言動の意味、人物像を読み取り、考えや感想を書き留める。	心情を表す語句、言動の意味、人物像を読み取り、構成に注意し作者の意図を推察し、考えや感想を書き留める。	
		文法への扉3 付属語	言	自立語と付属語との境目に注意しながら単語に区切り、付属語を取り出す。	自立語と付属語との境目に注意しながら単語に区切り、付属語を取り出し、助詞、助動詞の大別をする。	
2 3		言葉3 方言と共通語	言	方言と共通語の特長を知り、方言のこれからについて考えを交流する。	方言と共通語の特長を知り、方言の分布からその生成過程や、方言のこれからについて推察し、考えを交流する。	ファイル点検 ワークシート 定期テスト
		表現のしかたを 工夫して書こう	書	様々な関係から自分を見つめ直し、自分を主人公とし、伝えたい自分が伝わるような短い小説を書く。	様々な関係から自分を見つめ直し、三人称で自分を主人公とし、伝えたい自分が伝わるよう描写を工夫した短い小説を書く。	
		科学はあなたの中にある	読	筆者の「科学」に対する考え方を読み取り理解する。	筆者の「科学」に対する考え方について、自分の考えをまとめる。	
		漢字3 送り仮名	言	送り仮名の知識を書くときに生かす。	用言と活用しない自立語の知識と送り仮名の知識を結びつけ、書くときに生かす。	
		一年間の学びを振り返ろう	話 聞 書	資料や機器を活用して自分の考えを説明する。	資料や機器を効果的に活用して自分の考えを簡潔に説明する。	
		鍵	読	言葉の意味を考えながら、主題を捉える。	言葉の意味を考えながら、主題を捉え自分の考えを表現する。	

7 9 12 1	書写	行書を書いて確かめよう	言	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。	課題 ワークシート
		漢字と仮名を 調和させて書こう	言			
		楷書か行書を選んで書こう	言			
		広げよう書写の輪	言			

関…国語への関心意欲態度 話…話す・聞く能力 書…書く能力 読…読む能力 言…言語についての知識・理解・技能